

支所発地域力向上支援金事業実施報告書（自己評価）

令和3年11月28日

事業実施地区	長野市南堀区
事業名	災害・防災訓練用ビブス購入事業
団体名及び 代表者名	(団体名) 長野市南堀区 (代表者名) 区長 町田 佳彦 (連絡先) 電話 026-243-0469

■事業概要（選考委員会の助言を含む）

災害時及び防災訓練時に区自主防災会役員がビブス（ゼッケン）身に着けることにより、担当の役割を強く認識することで、統制が執れることから、役割名入れビブス（ゼッケン）を購入し、区の防災力を高めていく。	【総事業費】 176,260円 【補助金額】 100,000円 【事業完了日】 令和3年11月28日
--	--

※活動状況のわかる写真・成果物等を別途添付

■事業効果（目的の達成度・地域への貢献度等について）

<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練の活性化が図れる。 ・各防災役員の分担任務を明確に認識することができる。（自分は何の係なのか分かる）
--

※参加人数等、数値化して効果を表せるものがあれば数値化したものも加えて記載をお願いします。

■事業評価（該当欄に○）

	予定を上回る	予定どおり	概ね予定どおり	予定を下回る
事業の内容			○	
事業の効果			○	
特記事項 (評価理由等)	令和3年10月10日に予定していた秋の防災訓練はコロナ禍で中止したため、防災役員全員が着用しての効果確認に至らなかったが、11月28日に実施した地区内清掃活動の中で一部役員が着用し、視覚による効果を確認し合った。			

■今後の取組予定

令和4年度春の防災訓練時に着用して効果を再確認したいと考えている。

長野市支所発地域力向上支援金事業完了報告書

令和3年11月28日
南堀区

事業名 : 災害・防災訓練用ビブス購入事業
購入完了日 : 令和3年8月16日



長野市支所発地域力向上支援金事業完了報告書



支所発地域力向上支援金 事業評価(朝陽支所)

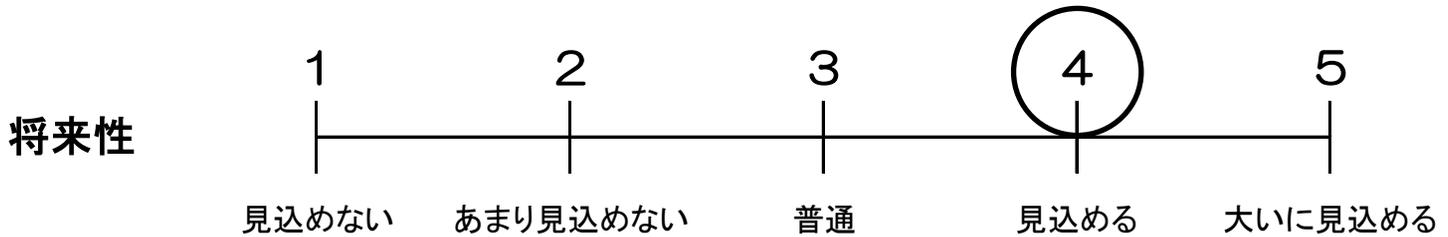
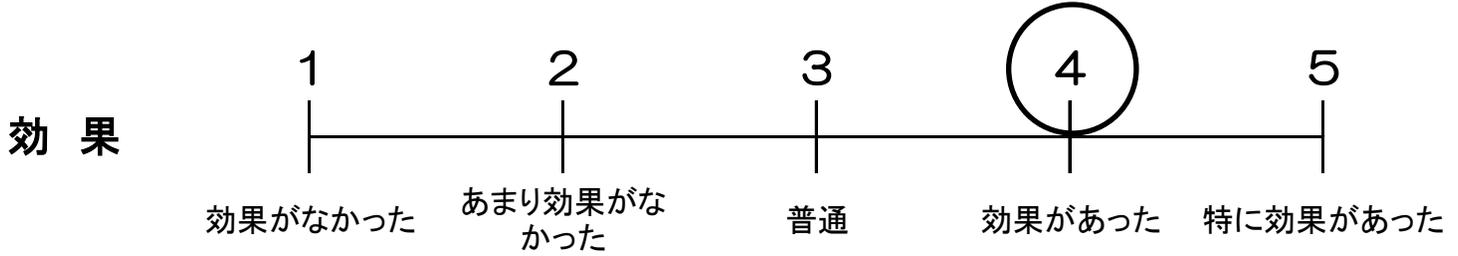
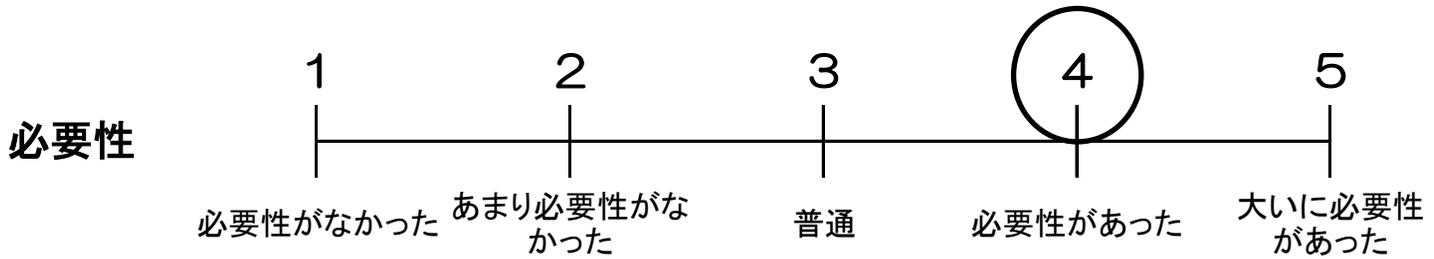
令和3年11月29日

事業名	災害・防災訓練用ビブス購入事業
------------	-----------------

団体名	南堀区
------------	-----

評価項目 (選考基準の視点で評価)

事業区分	安全・安心活動
-------------	---------



支所長の総合評価 (次年度以降の活動への助言等)
南堀区は、洪水ハザードマップの浸水深5m以上の地帯を有しており、附属小東側南北に流れる白山堰からの浸水被害が度々発生する地域である。こうしたことから、毎年、市危機管理防災課職員を招き、防災研修会を開催されるなど、防災活動を着実に実施しており、区役員を中心に防災意識の高い地区である。今回の事業は防災活動班名入りのビブス(ゼッケン)を購入し、これを自主防災会役員が災害発生時に身に着けることで、統制の執れた防災活動にしていきたいと計画されたものである。
ビブス購入後は、10月の区防災訓練時に役員がビブスを着け、各自が役割を理解し、グループ毎の行動が明らかになるか、統制の執れた活動ができるか等を確認する予定であったが、コロナ禍の9月、県内一斉啓発活動「命と暮らしを救う集中対策期間」の影響により、区防災訓練は中止を余儀された。このため、地区内清掃活動の中で一部役員が着用し、視覚による効果を確認することに留まった。
来年春の区防災訓練時には事業の効果を再度確認するとのことである。
支所長としては、ビブスの着用時には誰から見ても区の自主防災会の役員であることが明らかとなり、有事の際は、統制された活動が期待でき、区の防災力は高められたと考えている。
多くの住民が参集する春の区防災訓練時では、着用の効果を再確認する中で、活動に関する課題が浮かび上がってくると思われる。課題の軽減等に取り組み、防災力をより高めていただきたいと考える。